

## ■国際水田・水環境ネットワーク（INWEPF）シンポで基調講演

このシンポジウムは、2010年6月17日、ノンタブリー県（首都バンコクの北隣）で開催され、日本からは農水省及び農工研からそれぞれ1名が参加しました。

- ・ ウォンサムット農業・協同組合省大臣が開会の挨拶を行い、タイの水田農業における水資源の確保の重要性と水環境の保全を訴えました。
- ・ 水田農業の多面的機能を定量的に示すことがアジアモンsoon地域各国共通の課題になっています。



- ・ タイの研究者の講演発表は、水田地帯の水質、水生生物、その他農村環境の保全など、話題は幅広く、水田農業の持つ多面的機能に対する関心の高さがうかがわれました。



- ・ 私（白谷）の背後に「2553」という数字が見えます。タイ語で2553年6月17日と表記されています。
- ・ タイ、カンボジア、ラオスでは、釈迦が入滅した翌年の紀元前543年を仏滅紀元元年としています。つまり、キリスト紀元（西暦）に543を加えた値が仏暦（ $2010 + 543 = 2553$ ）となっています。



- ・ ウォンサムット農業・協同組合省大臣から記念品をいただきました。



- ・ 会場には女性職員の姿も多く見られました。タイでは男女共同参画が進んでいるようです。

